

日々 の暮ら しを やさ しく 面白 くす る未 来会 議

2022年
3月10日(木)
13時～18時(開場 12時30分)

※終了後、19:30まで交流会あり

@ KYOCA Food Laboratory 3階「HACOBA」

京都府京都市下京区朱雀正会町1-1

対象：学生50名

参加学生
募集
対面参加型
イベント

今津新之助 × 村井琢哉 × 松浦千恵 × 金井浩一 × 田中元子

日々の暮らしを やさしく 面白くする 未来会議

「日々の暮らしを、やさしく、面白くする未来会議」は、自らの参加関与によって、望ましい未来社会をつくりだそうとする大学生50名と、京都府内にある社会福祉法人の志ある経営者や職員のみなさん、そして先駆的に活動を展開するソーシャルワーカーによる「多様で、自由で、寛容で、やさしいまちづくりに向かう〈ひらかれた対話・協働の場〉」です。

イベント概要

【開催日時】

2022年3月10日(木)
13時~18時(開場12時30分)

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開催形式が変更になる可能性があります。

【プログラム】

- 第1部(約120分)
- 先駆的な実践者によるクロストーク
 - 第2部(約120分)
- まちをやさしく、面白くする未来会議
 - 第3部(約30分)
- クロージングセッション
- 懇親会(※イベント終了後)
- 交流・懇親・名刺交換など

【会場】

KYOCA Food Laboratory 3階「HACOBA」
京都府京都市下京区朱雀正会町1-1

【お問い合わせ】
info@swlab.jp

【お申し込み】
Peatixよりお申し込みください。
<https://sw-kyoto.peatix.com>



参画法人

くらしの



最期まで地域で。「楽しく生きる」をつくる福祉。人口減少社会に入り、介護保険制度は制度疲労を起こしています。私たちは今から新しい仕組みやつながりをつくっていかねばなりません。高齢になっても障害があっても役割や生きがいをもって生活ができるような場をつくること。制度・分野の境界線や支え手・受け手の役割関係を越えたつながりを生み出すこと。そんな「楽しく生きる」をつくる福祉に取り組んでいます。



社会福祉法人
南山城学園

一人ひとりとまっすぐに向き合い、誰もが自分らしく暮らせる地域づくりを続けること。それが私たちの仕事です。時代の変化とともに多様なつながりが薄くなり、社会課題にもなっている今、「地域で新しいつながりをつくる」ことこそが社会福祉法人の使命だと私たちは考えています。人々と地域との相互作用のなかで化学変化が生まれ、新たなつながりが人々の幸せへと変わっていく。新しい社会づくりを見据えて、フクシをこえてけ!

社会福祉法人

みねやま福祉会

地域課題への挑戦。私たちはこれまで地域のニーズに応じて福祉事業を育ててきました。家庭で暮らすことのできない生まれたばかりの赤ちゃんを見守ること、発達に不安を抱える子どもやそのご家族に寄り添うこと。終の棲家でその人生を閉じようとする最期の一瞬まで何ができるのか。これから私たちがめざすのは、人々が地域で共生する社会です。地域で暮らす一人ひとりが求めることに耳を傾けながら、社会で必要な事業に挑戦します。



社会福祉法人グループ リガール
Ligare

私たちは、福祉を、幸せを考える全ての人の活動と捉えています。そこで考えました。ひとつだけではなく、複数の社会福祉法人が手を結ぶことが課題解決への近道ではないかと。こうして誕生したのが「リガール」です。めまぐるしい世界や社会の変化の中で、共に学び、常に考え、更新することで、柔軟な視点を維持し続けようとしています。5法人で共に育ち、社会や地域と共に歩む。そんなグループを「リガール」は目指しています。

学生のみなさん

ゲスト & モデレーター

田中 元子

株式会社グランドレベル 代表取締役社長

建築コミュニケーター・ライターとしてメディアやプロジェクトづくりに取り組む。2016年「1階づくりはまちづくり」をモットーに「人・まち・日常」をアクティブにする株式会社グランドレベルを設立。2018年「喫茶ランドリー」をオープン。多様な住民が能動的に集う公共空間のモデルとして注目を集め、グッドデザイン特別賞などを受賞。著書に「マイパブリックとグランドレベル」など。

金井 浩一

一般社団法人ライフラボ 代表理事
相談支援事業所しほふぁーれ 所長

重度精神障害者の在宅生活支援チームへの参画を経て、2018年に一般社団法人ライフラボを設立。多領域が協働する地域ケア体制づくりがモットーの独立型相談支援事業所として、アウトリーチ性の高い相談支援に日々奔走。当事者や地域住民とともに、多様なものが出会い直せる「地域の小さな遊び場づくり」にも取り組む。一般社団法人コミュニティメンタルヘルスアウトリーチ協会理事。

松浦 千恵

Bazaar Cafe メンバー
社会福祉士 / 精神保健福祉士

高校卒業後、ネパールでHIV/AIDSの支援活動を行う。帰国後、Bazaar Cafeで働きながら大学の社会福祉学科に通う。卒業後は精神保健福祉士として依存症専門クリニックに勤務しながら、Bazaar Cafeの2階に家族で住みこみ。依存症やその他の精神疾患、引きこもり等の困難を抱えている人とともに生きながら、多様性を編みこめる居場所づくりを実践している。

村井 琢哉

NPO法人山科醍醐こどものひろば 理事長
関西学院大学人間福祉学部 助教

子どもの頃から「山科醍醐親と子の劇場」(現、山科醍醐こどものひろば)に参加し、2013年より理事長。子どもがより良く育つ環境づくりのため、同じ地域で暮らす大人・子どもがあるがまに関われる場づくりに取り組む。大学では、子どもの権利についての社会実践のあり方をNPOやボランティアという観点から研究。共著に「子どもたちとつくる貧困とひとりぼっちのないまち」。

モデレーター

今津 新之助

SOCIAL WORKERS LAB ディレクター

1976年生まれ。大阪出身。大学卒業後に沖縄に移住し、2003年に株式会社ルーツを創業。人づくり・組織づくり・地域づくりを行う多中心志向のコンテクスト・カンパニーを展開。現在はプロジェクトデザイナー兼コーチとして、人間の可能性が開花していくプロセスに伴走しながら、新たにはじめたり、局面展開させたり、領域横断し結びつけたりを多数。

環境危機、人口減少と超高齢化、格差拡大。社会の行き詰まりは明らか。

SDGsやESGなど方向性は示されているが、じゃあ一体、ぼくたちは何を選択し、どう行動すればいいのだろう。しかし、ぼくたちは微力だが無力ではないのである。この未来会議で、みなさん一人ひとりが、日々や未来の暮らしの作り手であることを感じてもらえたらと思う。——— SWLAB ディレクター 今津 新之助